

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 林業課長 桑本幸夫 電話番号 0852-22-5167

事務事業の名称	森林整備地域活動交付金事業	
目的	(1) 対象	森林所有者及び林業事業者
	(2) 意図	林業事業者等に森林施策を集約化させ、計画的かつ一体的な森林施策を推進する
事業概要	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、意欲と能力を有する林業事業者等による下記の地域活動に対し、交付金制度により支援する。 ①面的なまとまりを持って作業路網や森林施策に関する計画の作成を促進「森林経営計画作成促進」 ②森林施策の集約化（集約的な間伐）を促進「施策集約化の促進」 ③計画的かつ一体的な森林施策を実施する上で必要な既存路網の改良「森林経営計画作成・施策集約化に向けた条件整備」 ④森林施策等の実施の前提となる境界の確認「森林境界の確認」	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	内容	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		30.00	36.00	43.00	50.00	
式・定義	県下の民有林のうち、木材生産団地（森林経営計画）を設定した面積の割合	実績値	27.00	34.00	40.00	43.40		%	
		達成率		113.30	111.10	101.00		%	
指標名	木材生産団地（森林経営計画）内の搬出間伐面積	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		900.00	900.00	900.00	900.00		
式・定義	木材生産団地内の搬出間伐面積（造林事業＋森林整備加速化事業）	実績値	610.00	995.00	976.00	1,194		ha	
		達成率		110.60	108.40	132.70		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	86,349	90,300
うち一般財源(千円)	21,500	29,700

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

H24年度からH26年度までの3年間に森林経営計画の作成と施策集約化への取組み、またその取組みに向けた既存路網の簡易改良へ支援したことにより、計画的かつ一体的な森林施策を推進する団地である「木材生産団地」（森林経営計画）の県内設定面積（カバー率）を43%となり、目標を達成する見込み。搬出間伐の促進については、目標を上回る実績で推移している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

森林経営計画の作成に同意があった森林面積はH26年度 約3368ha、(H25年度 3149ha)であり、森林経営計画の作成促進に貢献している。
 また、施策集約化（間伐）の促進については、308haの実施同意を取得しており、間伐の推進に貢献している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

木材生産団地（森林経営計画）の設定や木材生産団地内での搬出間伐を着実に進めていく。事業を着実に推進するため、森林整備地域活動支援交付金事業を実施していない市町村、林業事業者等に対して説明会等を開催し、事業の活用推進を図る。事業活用の推進にあたっては、地方機関と連携する。また、交付金活用のため、市町村や事業者向けの説明資料を作成する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）